



警告

本資材は、取扱説明書の一部を抜粋したものです。
医師の処方および指示に従い、ご使用前に取扱説明書をよく読み、
正しくお使いください。

TEIJIN

酸素濃縮装置 ハイサンソ® i をお使いになる方へ

今日から始める！

在宅酸素療法(HOT)

機器編 ハイサンソ® i



① 治療開始の準備

④ 故障かな？と思ったら

② ハイサンソ® i の使い方

⑤ ご使用にあたっての注意点

③ お手入れのしかた

1 治療開始の準備

● 本体の構成

- ハイサンゾiは、据置型の酸素濃縮装置です。

〈前面〉



〈背面〉



● 操作パネル



● 必要な器具



② ハイサンソ[®] iの使い方

チェックポイント

- ☐ 運転を開始または停止することができますか？
- ☐ 医師の処方に従って、流量を設定または変更することができますか？

(1) カニューラ、延長用チューブの接続

- ① カニューラを酸素取出口に取り付けます。



(2) 電源の準備

- ① 電源コードがハイサンソiの電源コード差込口に差し込まれていることを確認します。
- ② 電源プラグが交流100Vのコンセントに差し込まれていることを確認します。

(3) 運転の開始

- ① 運転スイッチを0.5秒以上長押しして、電源を入れます。「プープー」とブザーが3回鳴り、お知らせランプ(赤→黄→緑)と電源ランプ(赤)が点滅します。



- ② お知らせランプが緑から黄に変わり、**「運転を開始します。火の気がないことを確認してください」**と音声メッセージが流れ、酸素生成の準備状態となります。続いて、現在の設定流量を知らせる音声メッセージが流れます。**「(例:「設定流量は5リットルです」)**



- ③ しばらくすると、お知らせランプが黄点灯から緑点灯に変わり、ハイサンソが使用に適した状態に達したことを示します。

※運転スイッチを入れてから、使用に適した状態に達するまでの時間は全設定流量(0.25~5.00L/分)で3分程度です。



- ④ 流量設定ボタンを押して主治医の処方流量に合わせます。設定が変更されると、設定流量をお知らせする音声メッセージが流れます。



流量設定ボタン

- ⑤ カニューラを鼻に装着し、吸入を始めます。**鼻で吸ってください。**



② ハイサンソ[®] iの使い方

(4) 運転の停止

鼻からカニューラを外し、運転スイッチを1秒以上長押しして運転を停止させます。運転スイッチを長押しすると「ピー」とブザーが鳴り、●「運転を停止します」と音声メッセージが流れます。



※運転スイッチを切った後、ハイサンソiは5～30秒で自動的に停止します。この間お知らせランプ(緑)が点滅していますが、必要な終了動作を行っているため、異常ではありません。

MEMO



③ お手入れのしかた

チェックポイント

□ 操作パネルや外装ケースの清掃ができますか？

お手入れは、必ずハイサンソ i の運転を停止して行ってください。

随
時

- 本体の操作パネルおよび外装ケースのホコリ等の汚れを取り除くときは、次のものを使用して軽くふき取ってください。

- ・よく水をしぼった布
- ・家庭用の中性洗剤をつけたスポンジ

*洗剤を使用した場合は水ぶきして洗剤が残らないようにしてください。

❗ 直接水や洗剤をつけないでください。

- しばらくご使用にならなかったハイサンソ i をご使用になるときは、使用前にハイサンソ i が正常に作動することを確認してください。



MEMO



4 故障かな？と思ったら

故障かなと思ったら・・・

チェックポイント

- ☐ 異常時に取扱説明書を参照できますか？
- ☐ 緊急連絡先はわかりますか？
- ☐ 停電、故障時には酸素ボンベ等に切り替えることができますか？
(酸素ボンベを処方されている方)

ハイセンサーに異常があった場合、警報のブザー音や異常ランプでお知らせします。

液晶画面

流量設定ボタンまたはリモコンで設定された流量やガイダンス等を表示する。

電源ランプ(赤)

電源コードがハイセンサーから抜けていたり、電源プラグがコンセントから抜けていたり、停電のときに点滅し、ブザーが鳴ります。



警報消音ボタン

警報音を停止するボタンです。
警報消音中は、“警報消音マーク”が表示します。

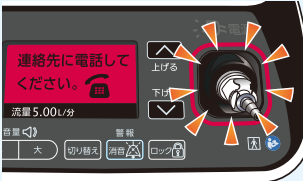
お知らせランプ(赤/黄/緑)

運転中には緑色に点灯します。
異常時には赤色/黄色に点滅/点灯します。

● 主なアラーム

黄  は点灯 (常時表示されている状態) を表します。

赤  黄  は点滅 (ランプがついたり消えたりしている状態) を表します。

ハイサンソ ⁱ の状態	原因	処置
 お知らせランプ(赤)が点滅し、液晶画面に「連絡先に電話してください。」と表示され赤く点灯し、ブザー (ブブブーブブーブブブーブブ) が鳴っている。 「ボンベに切り替えて、連絡先に電話してください。」と音声メッセージが流れている。	装置内部の異常が疑われます。	裏表紙の「連絡先」に連絡してください。
 お知らせランプ(黄)が点滅し、液晶画面に「連絡先に電話してください。」と表示され、黄色に点灯し、ブザー (ブブブ) が鳴っている。 「ボンベに切り替えて、連絡先に電話してください。」と音声メッセージが流れている。		
 お知らせランプ(黄)が点滅し、液晶画面に「チューブが折れていないか確認してください。」と表示され、黄色に点灯し、ブザー (ブブブ) が鳴っている。 「カニニューラやチューブが折れていないか確認してください。」と音声メッセージが流れている。	長時間カニニューラや延長用チューブが折れ曲がっている状態になっていることが考えられます。	折れ曲がっていたり、つぶれたりしているところを直してください。(カニニューラや延長用チューブの折れ曲がりやつぶれを直してもお知らせランプ(黄)は30～40秒間点灯しつづけます。)
 お知らせランプ(黄)が点滅し、液晶画面に「チューブが折れていないか確認してください。」と表示され、黄色に点灯し、ブザー (ブブブ) が鳴っている。 「カニニューラやチューブが折れていないか確認してください。警報が続く場合は、ボンベに切り替えて、連絡先に電話してください。」と音声メッセージが流れている。		
 お知らせランプ(黄)が点灯し、液晶画面に「チューブが折れていないか確認してください。」と表示され、黄色に点灯している。	カニニューラや延長用チューブが折れ曲がっていたり、つぶれたままの状態になっていることが考えられます。	折れ曲がっていたり、つぶれたりしているところを直してください。
	酸素濃度がやや低下している可能性があります。	裏表紙の「連絡先」に連絡してください。

4 故障かな？と思ったら

電源に関するアラーム

ハイサンソ i の状態	原因	処置
 電源ランプ(赤)が点滅し、液晶画面に「コンセントを確認してください。」と表示され、赤く点灯し、ブザー(ブブブーブブーブブーブ)が鳴っている。「コンセントを確認してください。停電の時は、ポンベに切り替えてください。」と音声メッセージが流れている。	電源プラグがコンセントから外れていることが考えられます。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
 運転開始時に、液晶画面に「連絡先に電話してください。」と表示され、「連絡先に電話してください。電池の交換が必要です。」と音声メッセージが流れている。	停電警報用の電池が切れている可能性があります。(通常使用に問題ありませんが、停電時に警報が発生しない可能性があります。)	コンセントに電気がきているかを、他の電気機器で確かめてください。停電時には、運転スイッチを切り、酸素ポンベに切り替えて通電するまでお待ちください。 裏表紙の「連絡先」に連絡してください。

MEMO

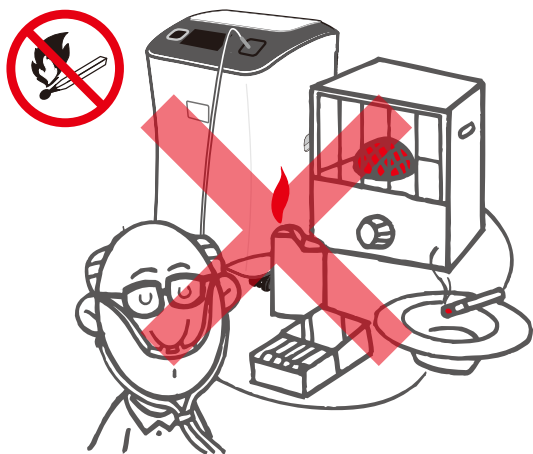
5 ご使用にあたっての注意点

● ご使用にあたっての注意

チェックポイント

- ☐ 高温の熱源、スパークを発するおそれのある電気機器等や、裸火(タバコ、ライター、ストーブ、マッチ、ロウソク、線香、ガスコンロ等)を使うことはありますか？
- ☐ 周りの人はタバコを吸いますか？

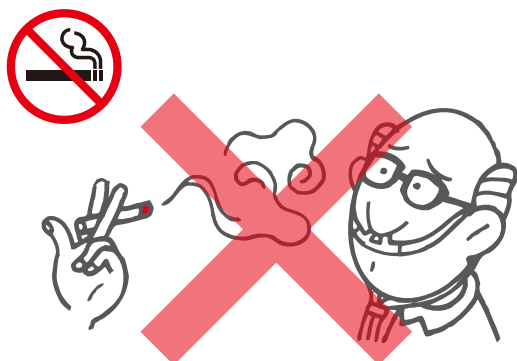
ご使用前に取扱説明書(P2～9)をよくお読みください。



酸素は、それ自体は燃焼しませんが、**燃焼を助ける**ガス(支燃性ガス)です。酸素吸入中は次のような発火源の周囲2m以内に近づかないでください。

- ・ 高温の熱源
- ・ スパークを発するおそれのある電気機器等
- ・ 裸火(タバコ、ライター、ストーブ、マッチ、ロウソク、線香、ガスコンロ等)

* やけど、火災のおそれがあります。



酸素吸入を行っているときは、本人はもちろん周りの人も**禁煙**を守ってください。

* やけど、火災のおそれがあります。

連絡先

認証番号: 230ADBZX00107000
製造販売業者: 帝人ファーマ株式会社
販売名: ハイサンソ® i
一般の名称: 酸素濃縮装置 (テレメトリー式パルスオキシメータ受信機)

ハイサンソ® iの
操作に関する動画を掲載しています。

帝人ファーマ 一般

検索

